

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ギフトッド藍住		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の発達特性や興味関心に応じた支援を行い、安心して過ごせる環境づくりに努めている。	一人ひとりの特性やその日の状態を職員間で共有し、活動内容や関わり方を柔軟に調整している。	保護者との情報共有をより丁寧に行い、家庭と連携した支援の充実を図っていく。
2	遊びや生活活動を通して、基礎感覚(固有感覚・前庭感覚など)を取り入れた支援を行っている。	運動遊びや感覚統合を意識した活動を取り入れ、子どもが楽しみながら身体を動かし、発達を促す支援を実施している。	職員研修等を通じて支援の専門性を高め、利用児の発達段階に応じた活動内容の充実を図る。
3	利用児同士の関わりを大切にし、社会性やコミュニケーション力の向上を支援している。	小集団活動や遊びを通して、順番・ルール・協力などを自然に学べる環境を整えている。	利用児同士の関係づくりを支援する活動をさらに取り入れ、社会性の育成を促していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児の発達段階や特性に応じた支援を行っているが、より専門性を高めた支援の充実が求められる。	発達特性が多様化しており、より専門的な知識や支援方法の習得が必要であるため。	外部研修や事業所内研修を積極的に取り入れ、職員の専門性向上に努めていく。
2	活動内容に応じた環境設定について、より充実させていく必要がある。	限られたスペースの中で多様な活動を実施しているため。	活動内容に合わせたレイアウトの工夫や環境整備を進め、安全で活動しやすい環境づくりを行う。
3	保護者支援の機会をさらに充実させていく必要がある。	日々の送迎時など短時間での情報交換が中心となることが多いため。	面談や相談の機会を設けるなど、保護者が相談しやすい体制づくりを進めていく。